

# 有岡城跡・伊丹郷町遺跡

発掘調査現地説明会資料

平成15年8月9日(土)

伊丹市教育委員会

1. 遺跡名 有岡城跡・伊丹郷町遺跡第271次調査地点

2. 所在地 伊丹市伊丹4丁目748番地

3. 調査面積 約900㎡

4. 調査期間 平成15年4月21日～8月12日

5. 調査期間 伊丹市教育委員会

6. 遺跡の概要 有岡城は、鎌倉時代以来、この地方を領していた伊丹氏の居城として発展・整備されてきた。天正2年(1574)、当時の城主伊丹親興を破って入城した荒木摂津守村重は、伊丹城に大掛かりな手を加え、摂津一国の居城にふさわしい惣構えの城に改造している。調査地点は、本丸が置かれた主郭の南側にあたり、城内と大坂・尼崎を結ぶ道筋に面しており、南へ300mには、有岡城の南端を守る鴨塚砦(ひよどりづかとりで)が設けられ、大坂・尼崎方面への出入り口の警備を担っていた。

廃城後の史料によると、調査地点は伊丹村を構成する15の町の一つ伊勢町に該当している。伊勢町は豊臣時代の文禄年間(1592～96)には既に認められ、伊丹郷町の町の中でも成立時期が古い。また、伊勢町は無足町とも呼ばれていた。無足は、家臣でも知行地をもたない軽輩のことで、身分の低い家臣(足軽)などのことをさすことから、伊勢町には、有岡城の足軽が多く住む地域であったと考えられる。

有岡城廃城後、残された当時の城下町から伊丹の町は復興されていった。江戸時代の伊勢町は、江戸時代前期から家並みが続く町筋が成立し、大坂・尼崎との人や物資の往来がある賑やかな場所であった。江戸時代後期(文化年間=1804～18))には、伊勢町には7軒の酒蔵があった。

## 7. 調査成果

今回の発掘調査では、古墳時代～近代にかけての遺跡であることがわかった。時期別に説明すると以下のとおりである。

### 古墳時代

調査地点の東側を中心に古墳時代中期の埴輪が出土した。これらの埴輪は、円筒埴輪の破片で、元は古墳の墳丘に飾られていたものである。出土状況からみて、古墳に並べられた埴輪が、

何らかの理由で古墳が壊されて周辺部に散乱したものと考えられる。

#### 戦国時代

大阪道に面した場所から、有岡城頃の掘立柱建物跡とその時期の陶磁器や瓦が出土した。建物の規模は明らかではないが、柱穴の状況から小規模な建物であったと推測される。陶磁器には、美濃の天目碗や丹波焼播鉢、備前焼などが出土した。

#### 江戸時代前期

江戸時代前期の遺跡としては、調査区の南側一帯から発見された鍛冶関係の遺構ある。鍛冶関係の遺物には、フィゴの羽口や溶解した鉄屑（スラグ）がある。

江戸時代前期末には、大阪道に面したところを中心に火事跡が確認された。確認された火事跡には、焼けた木材や壁土、陶磁器などを埋めた大きな土坑（穴）が掘られていた。中から出土した陶磁器の年代から、元禄時代に発生した3回の大火と時期が一致している。

#### 江戸時代後期

江戸時代後期には、調査地域全体に酒蔵が建てられている。調査区内で発見された石組みの溝を境に2軒の酒蔵が建てられていたことが確認された。酒蔵に関係する遺構としては、礎石建物跡、大型のカマド、井戸、酒を搾る槽場（男柱遺構）などがある。

## 8. まとめ

### 古墳時代

出土した埴輪は古墳時代中期（5世紀）のものである。周辺地域では、鴨塚がこの時期の古墳であることが確かめられているが、今回出土した埴輪が、鴨塚の埴輪であるのか、この付近に別の古墳が存在していたのか、今後検討していきたい。

これまでの発掘調査によれば、伊丹郷町内にはかなりの数の古墳が築造されていたことがわかってきた。これらの古墳は、有岡城頃にはほとんどが破壊され、一部は砦などに利用されたものと推測される。

### 戦国時代

今回の発掘調査で発見された掘立柱建物跡は、地名からすると足軽などの屋敷であった可能性がある。

### 江戸時代前期

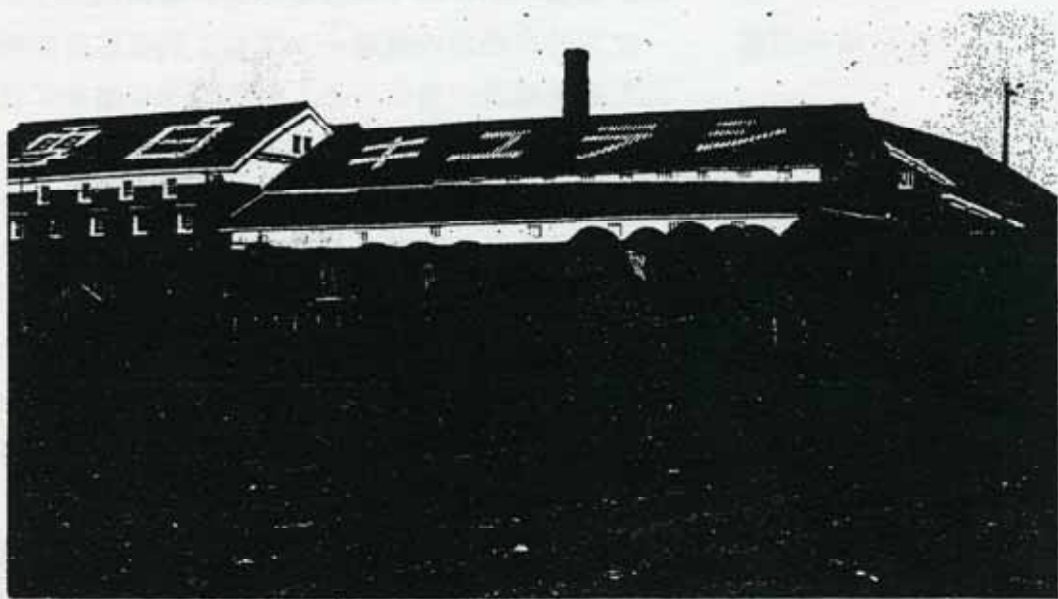
調査区内で発見されたフィゴの羽口やスラグについては、まだ十分な検討ができていない。

### 江戸時代後期

2軒の酒蔵の創建時期は明確ではないが、概ね18世紀中頃以降と考えられる。当時の蔵の所有者については現在のところ不明であるが、両蔵とも明治19年には、森川弥一郎の所有に

なっている。森川家の屋号は但馬屋で、明治3年の但馬屋弥兵衛の鑑札高は750石である。

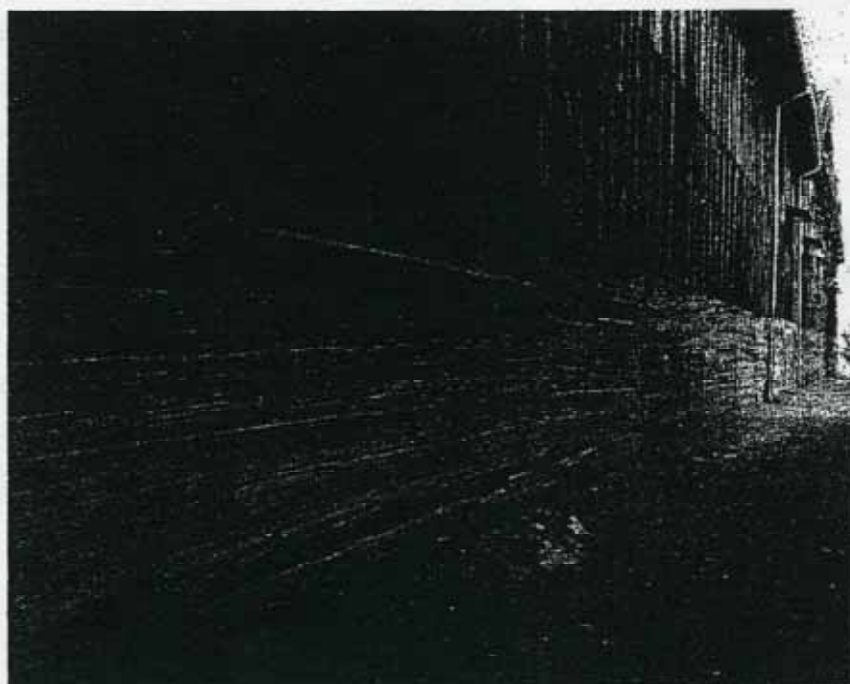
その後の経過は明らかではないが、明治35年までには、小西家の所有となり南蔵として稼動し、昭和18年の企業統合の際には転用廃止蔵の対象となっている。



**南蔵**

伊丹市伊丹4丁目7-748

仕込み準備のため秋洗いの終わった樽を干している。昭和62年解体（小西重夫氏提供）



**南蔵壁面**

酒槽板を利用した西側壁面

図1 伊丹郷町の図

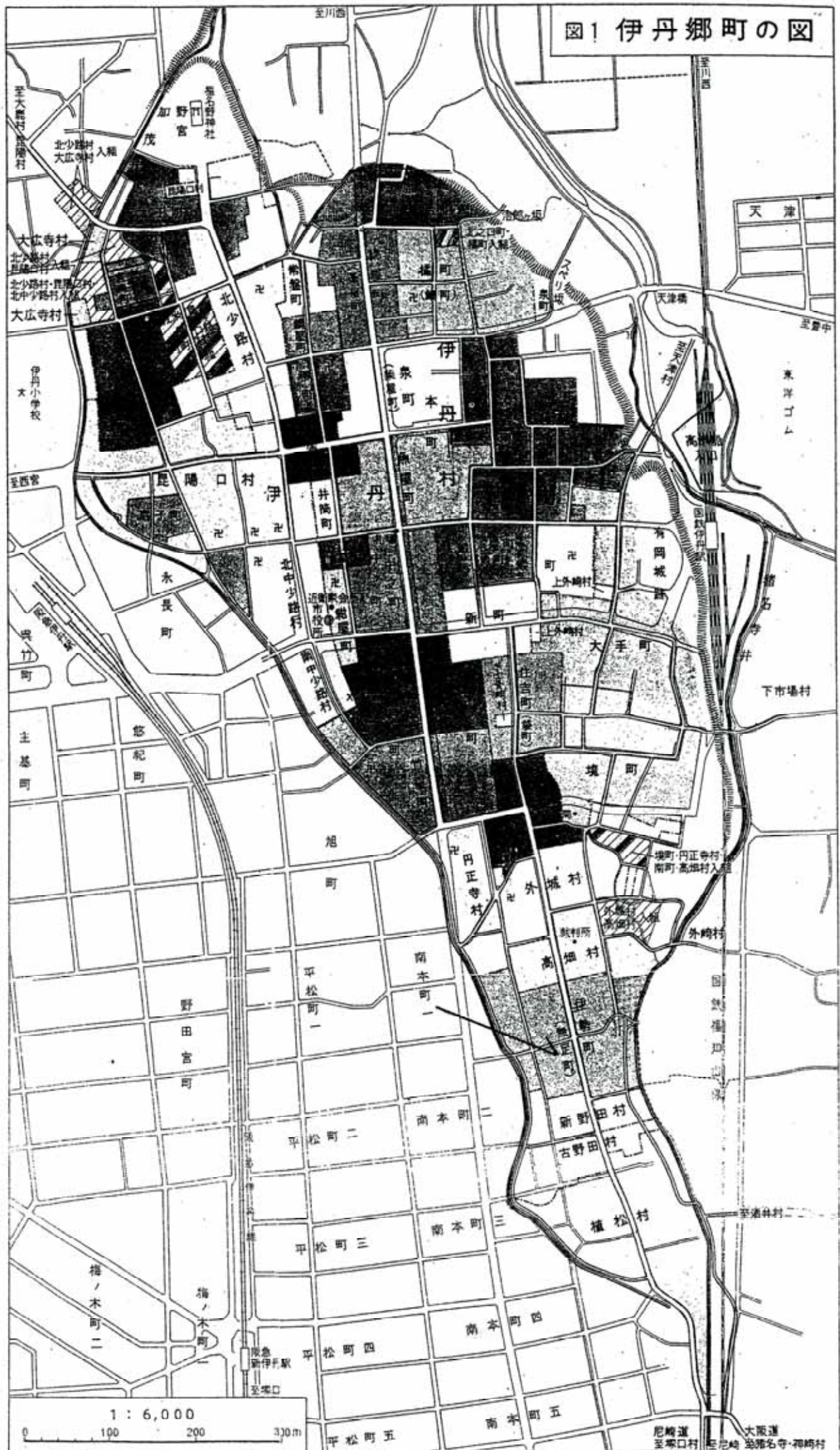








図5. 「摂津名所図會」下巻 臨川書店 197. )より



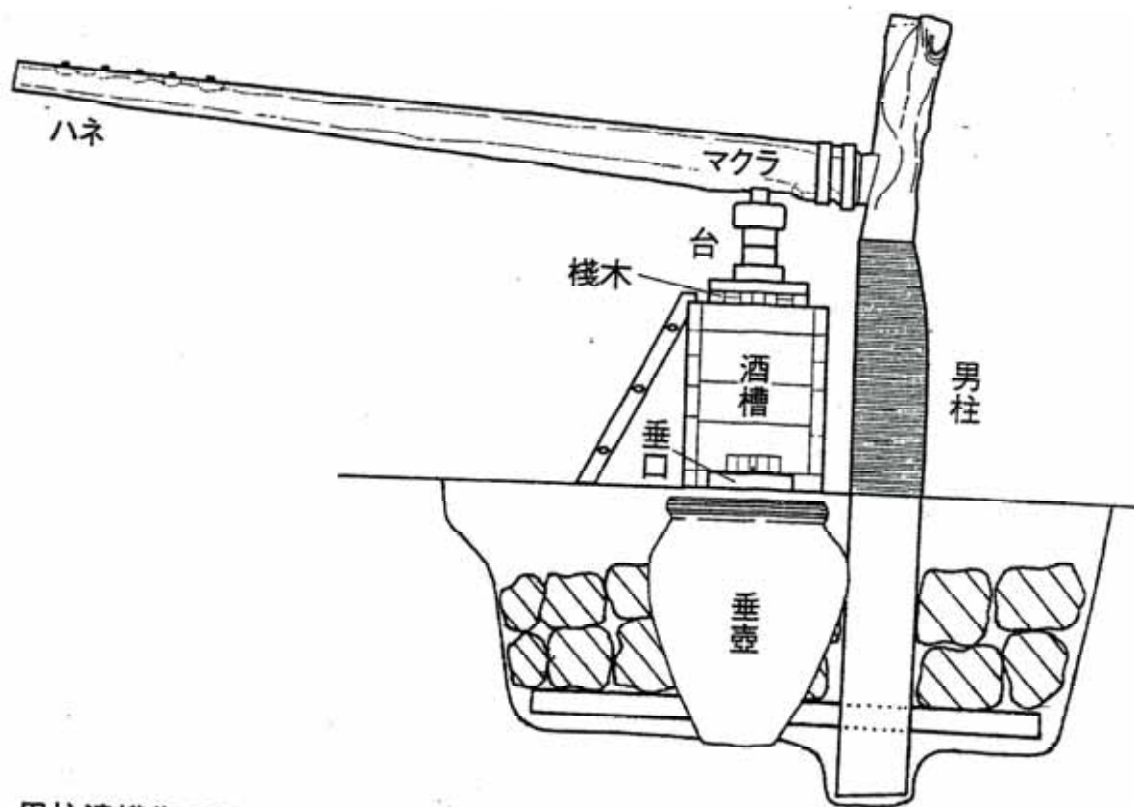


図6. 男柱遺構復原図  
 (伊丹市「重要文化財 旧岡田家住宅保存修理工事報告書(災害復旧)」1999年)より)

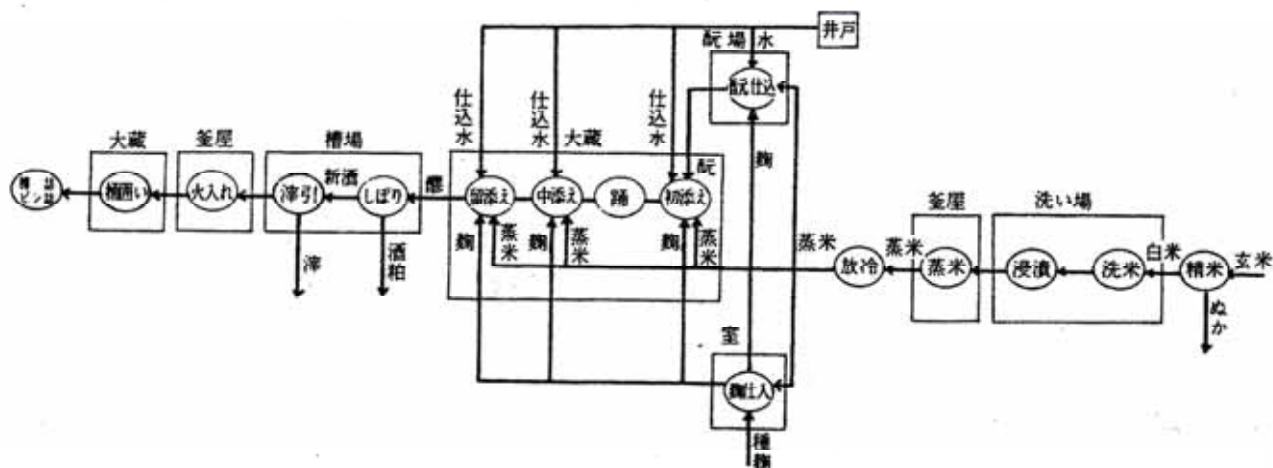
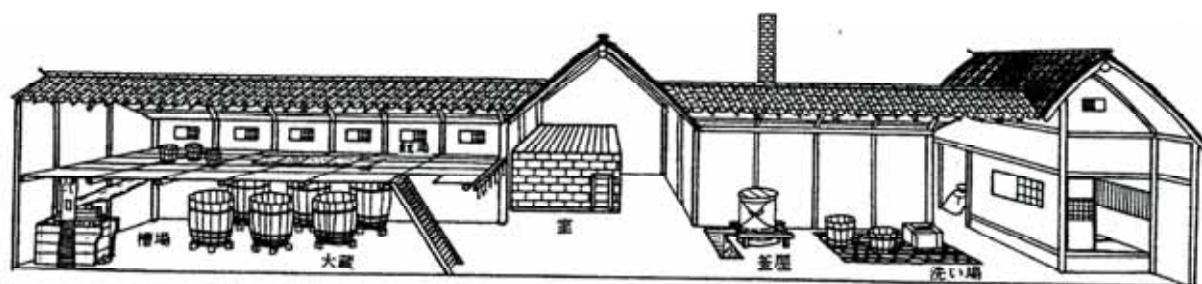


図7. 酒造模式図(上)・酒造工程図(下)  
 (伊丹市文化財保存協会「伊丹の民具 伊丹の酒造り道具」1991年改訂より)

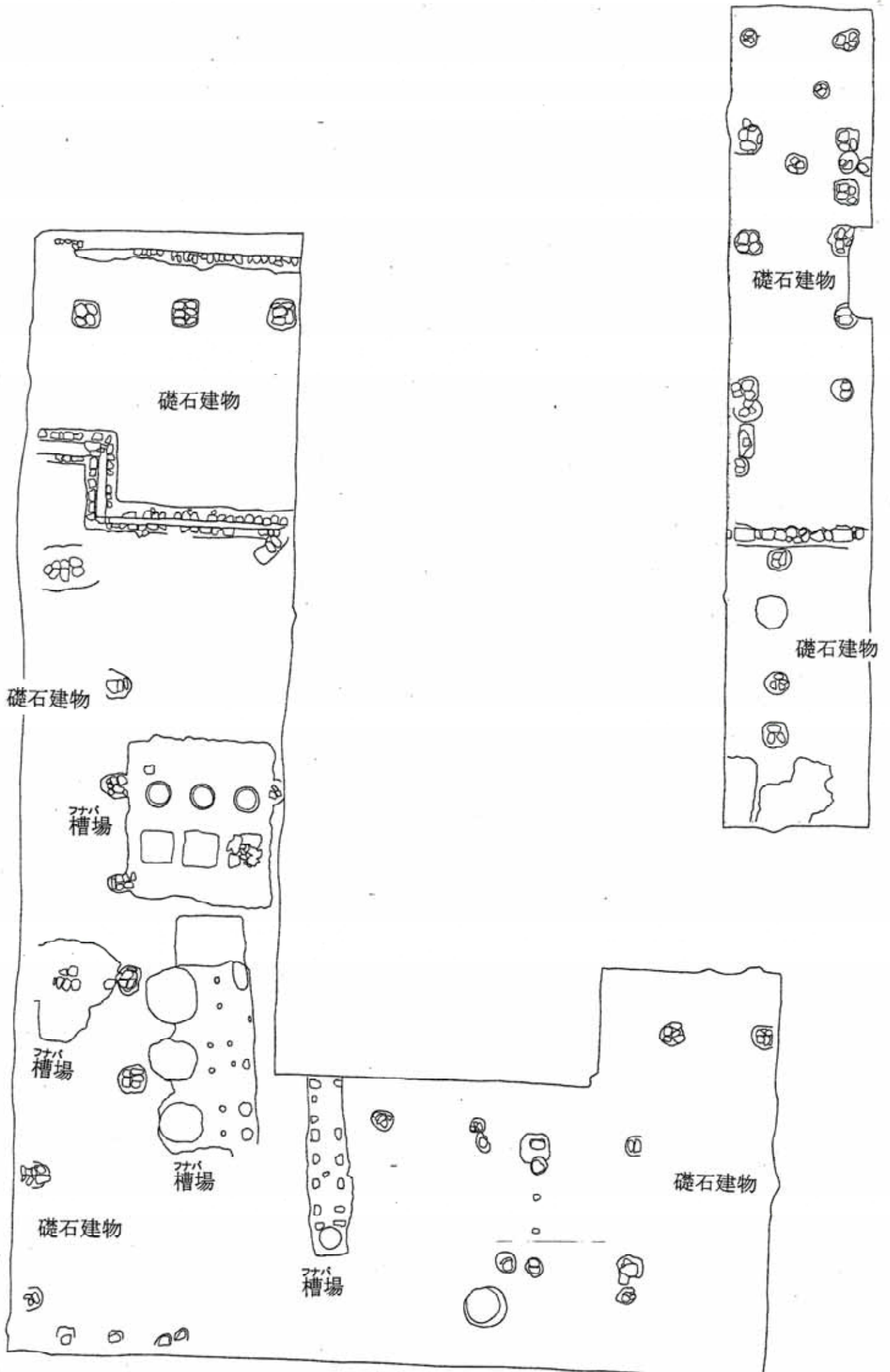


図 2 第一遺構面平面図